

1. 科目名(単位数)	特別活動の指導法(初等) (2単位)	3. 科目番号							
2. 授業担当教員	磯辺武雄								
4. 授業形態	◇講義、演習、模擬実習、グループワーク、ディスカッションなど 例：導入：講義によって課題の把握→展開(演習)：自分の考えをまとめる→グループでの話し合い→グループの考えを発表→全体での協議→まとめ：協議内容を含め講義のまとめ	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>◇ 特別活動は、児童の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめ問題などに対する予防的な役割を果たすなど、児童の成長に欠かせない教育活動である。そこで、特別活動の意義や目標を確認し、その背景となる理論を理解するとともに、実践的な指導の在り方を身につけさせる。</p> <p>◇ 特別活動の方法原理や基本的な用語などの確認をしながら、学級活動を中心とした授業力等の理解と習得を図る。</p> <p>◇ 演習内容は、小学校における「学級活動」を中心にその授業力・指導力を育成するものとする。学級活動を中心に演習を展開する理由は、学級活動が特別活動の中核であり、集団成員としての望ましい資質や能力・態度を育て、人間としての生き方に関する指導を行う中心的な場であるとともに、生徒指導の全機能が補充・深化・統合される場として重要であるからである。また、教科書もなく学級担任としての力量が学級担任になると即刻問われるからである。</p>								
8. 学習目標	<p>1. 特別活動の目標や内容、特質と教育課程における位置づけについて理解し、教育課程全体を意識して計画や指導を行うことができるようになる。</p> <p>2. 特別活動における評価・改善活動の重要性を理解し、適切な評価・改善活動を実践できるようになる。</p> <p>3. 小学校における特別活動の中核となる「学級活動」について、その特質を理解した上で、計画委員会が主体となって授業を展開する指導案(展開案)を作成し、合意形成に向けた話し合い活動を指導できるようになる。</p> <p>4. 特別活動における家庭、地域等との連携のあり方について理解し、指導に活かせるようになる。</p>								
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>・ 次時の学習内容に関する箇所について、『学習指導要領解説 特別活動編』で確認・予習を励行すること。</p> <p>・ グループワーク等においては、必ず各自で関連資料(紙媒体)等を事前準備して授業に参加すること。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書【教員免許取得予定の校種の以下の学習指導要領を購入しておくこと。】</p> <p>◇文部科学省『小/中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』平成30年2、3月発行</p> <p>◇文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編』平成31年3月発行</p> <p>【参考書】</p> <p>○文部科学省『生徒指導提要(平成22年3月HPで公表)』、平成22年11月発行</p> <p>○文部科学省『小/中学校学習指導要領(平成29年3月告示)』平成30年2、3月発行</p> <p>○文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)』平成31年2月発行</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 特別活動の目標や内容、特徴を踏まえて指導計画をつくることができる。</p> <p>2. 指導計画をもとに適切な授業を行うことができる。</p> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極性(発言・模擬授業の実施等)</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>2. 日常の学習状況(出席・提出物)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験</td> <td>50%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極性(発言・模擬授業の実施等)	20%	2. 日常の学習状況(出席・提出物)	30%	3. 期末試験	50%
1. 授業への積極性(発言・模擬授業の実施等)	20%								
2. 日常の学習状況(出席・提出物)	30%								
3. 期末試験	50%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>・ 授業中の私語、飲食及び携帯電話、スマートフォンの使用等は慎むこと。</p> <p>・ グループワークの際は、必ず各自、関連資料等の事前準備をし、グループ討議に積極的に参加すること。</p> <p>・ 教員としての資質向上に関わる自己目標・自己課題をもち、授業に参加すること。</p> <p>・ マスメディア(新聞・テレビ等)における教育に関連する時事問題に関して、常に関心を持つこと。</p> <p>・ レポート、アサシメントについては、指定の提出日を必ず厳守すること。</p>								
13. オフィスアワー	授業終了後、教室(又は8号館別館講師室)にて適宜時間を設けます。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	・ 特別活動の教育課程内での位置づけと総括目標について理解する。	事前学習	・ 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』PP.11～42を熟読しておくこと。						
		事後学習	・ 特別活動の総括目標等を再確認すること。						
第2回	・ 特別活動の全体構成、各内容の概要について理解するとともに、その特質について考える。 ・ 班(グループ)分け	事前学習	・ 教科書PP.176～180を熟読しておくこと。						
		事後学習	・ 特別活動の全体構成、各活動内容の概要を整理・確認すること。						
第3回	・ 学級活動～学級活動の目標・内容を理解する～ ・ 学級活動指導案(略案)(1単位時間の指導計画)作成説明	事前学習	・ 教科書PP.43～83を熟読しておくこと。						
		事後学習	・ 学級活動指導案(略案)(1単位時間の指導計画)の作成について整理・確認する。						
第4回	・ 学級活動指導案(略案)(1単位時間の指導計画)の作成①	事前学習	・ 教材研究(教材資料)に依拠した学級活動指導案(略案)の素案を指定用紙に記入したものを次回授業に用意してくる。						
		事後学習	・ 学級活動指導案(略案)の素案の修正、加						

			筆を行う。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動指導案(略案)〈1単位時間の指導計画〉の作成② ・学級活動指導案(略案)の成案(完成原稿)提出。 	事前学習	・学級活動指導案(略案)の成案を考えてくる。
		事後学習	・グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動指導案(略案)〈1単位時間の指導計画〉 ～模擬授業①～ 	事前学習	・グループ毎に模擬授業の準備と予行演習をする。
		事後学習	・模擬授業を受けて、作成した指導計画(略案)を修正、補訂する。
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動指導案(略案)〈1単位時間の指導計画〉 ～模擬授業②～ 	事前学習	・指導計画を見直し、模擬授業ができる準備をしておく。
		事後学習	・模擬授業を受けて、作成した指導計画(略案)を修正、補訂するとともに、学級活動についてまとめる。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動の意義と指導計画等について考える。 ～主として児童会活動の活性化について～ 	事前学習	・教科書PP.84～101を熟読しておくこと。
		事後学習	・児童会活動の意義と指導計画等について再整理すること。
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動の意義と指導計画等について考える。 ～主としてクラブ活動の設置、運営上の課題について～ 	事前学習	・教科書PP.102～115を熟読しておくこと。
		事後学習	・クラブ活動の意義と指導計画、課題点について整理・確認すること。
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の指導-文化的行事と健康安全・体育的行事について考える- ～主として学校給食の課題について～ 	事前学習	・教科書PP.122～124を熟読しておくこと。
		事後学習	・文化的行事、健康安全・体育的行事の指導の留意点について整理・確認すること。
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の指導-儀式的行事について考える- ～主として国旗・国歌の取扱いについて～ 	事前学習	・教科書PP.120～121、P.159を熟読しておくこと。
		事後学習	・儀式的行事の意義、課題点や指導の留意点について整理・確認すること。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導、キャリア教育の意義や指導の留意点について考える。 ～主として職業観・勤労観を中心として～ 	事前学習	・教科書PP.126～127を熟読しておくこと。
		事後学習	・キャリア教育の意義、職業観・勤労観等について整理・確認すること。
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動における評価と地域連携 ～特別活動における評価の意義や在り方について～ 	事前学習	・教科書PP.162を熟読しておくこと。
		事後学習	・評価の意義や在り方について整理・確認すること
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の指導計画づくり ～特別活動の指導計画を作成することで、特別活動全体への理解を深める～ 	事前学習	・教科書PP.136～158を熟読しておくこと。
		事後学習	・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画の作成、配慮事項について整理・確認すること。
第15回	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返り 	事前学習	・これまで配布されたプリント(資料)、教科書をもとに、今までの学習を振り返り、特別活動の教育的意義、各活動、学校行事の目標、や活動内容等について発表ができるようにしておく。
		事後学習	・特別活動の総括目標及び教育的意義、各活動、学校行事の目標、内容等について整理・確認すること。
期末試験			